

介護職員等のための 医療の基礎知識講座 開催要綱

趣旨

介護を必要とする利用者はさまざまな疾患を抱えており、介護職員には、利用者の状態を観察し、医療職と適切に連携することが求められます。

本講座は、介護職員等が医療の基礎知識を習得することを目的に開催します。

研修のポイント！

根拠に基づいたケアを提供できます

高齢者の心身機能の特徴や、特に多い疾患の症状や治療、利用者の観察に求められる視点等を学びます。

医療職とのスムーズな連携が図れます

利用者の生活に必要な医療ケアを理解することで、介護と医療の連携において、互いに求められる役割を再認識し、よりの確な連携が図れるようになります。

医療の基礎知識を養うことで、利用者へのケアの質を高めます

医療の視点からも、利用者を理解することで、全体像をより正確に把握でき、更なるケアの質の向上につながります。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

高齢者・障がい者施設等に勤務する介護職員
本講座の内容に関心のある看護師、栄養士、相談援助職員等

配信期間

令和7年7月10日（木）～8月29日（金）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和7年5月9日（金）～6月9日（月）

受講決定

令和7年6月16日（月）までにメールでご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約60分	講義1 「高齢者の心身機能の理解」	<p>介護職員が医療知識を習得する必要性について理解し、高齢者の心身機能の特徴を踏まえ、機能低下を引き起こす原因と生活上の留意点について学びます。</p>
約60分	講義2 「高齢者に多い疾患の理解」	<p>高齢者に多い疾患にはどのようなものがあるかを学び、その原因と治療、求められるケアについて理解します。</p>
約60分	講義3 「利用者の観察に求められる視点と医療との連携」	<p>バイタルサインの理解など、介護職員が利用者の状態を観察する際に求められる視点を学びます。</p> <p>また、介護と医療の連携のあり方について、事例等を交え、理解を深めます。</p>